

### ■日本の斜面对策工の歴史(斜面对策技術国際化委員会共催)

#### History of Technical Development of Japanese Slope Protection Works

日本にはさまざまな種類の斜面对策工が存在します。その中には、昭和 30 年代前後に欧米から導入された技術が日本独自に進化した対策工もあれば、昭和の時代に日本で生まれた工法もあります。昭和の時代に生まれた対策工はその後、日本の環境の中で数多く施工され、対策工そのものも進化してきました。例えば、昭和 31 年発行の道路土工指針の初版には、「モルタル吹付け」という工法が記載されていますが、現在の吹付機の原型となった米国製とスイス製のモルタル・コンクリート吹付機が日本に導入されたのは昭和 30 年代後半ですので、道路土工指針の初版に記載された「モルタル吹付け」は現在のものとは異なる工法となります。過去にはシャフト杭併用集水井工や排水トンネル又は RC 集水井を受圧板とするアンカー工など、試験的に施工された対策工も存在します。対策工自体の変化とは別に、設計方法が変化した工法もあります。現在の斜面对策工を更に発展させていく上で、それぞれの工法が過去にどのように進化してきたかを知ることは重要です。また、設計方法の変遷を知ること、将来に向けての斜面对策工設計の進展に資すると思います。斜面对策技術の更なる発展のために、斜面对策工のさまざまな歴史を資料として残すことも重要です。本セッションではそのような斜面对策工そのものの歴史や設計方法の歴史などを紹介し、今後の斜面对策技術の進化の方向性について議論したいと考えています。試験的に施工されたものも含めた日本の斜面对策工（地すべり対策工、落石対策工を含む）の歴史、更にそれらの設計方法の歴史に関連する発表を募集します。

世話人 榎田充哉（斜面对策技術国際化委員会/国土防災技術）

上野雄一（斜面对策技術国際化委員会/日特建設）

岩佐直人（斜面对策技術国際化委員会/藤井基礎）

### ■地すべり地形のリスク評価法の新展開－AHP 評価の再考－

#### New Developments in Risk Assessment Methodology for Landslide Topography

#### - Revisiting AHP Evaluation -

これまで、空中写真を用いた地すべり地形の抽出やそのリスク判定に、防災科研の地すべり地形分布図や AHP 等の果たした役割は小さくありません。他方、5-10mDEM の国土数値情報や、LP データ、ドローン撮影などの新技術も生まれ、かつ赤色立体図や立体微地形図などによる微細な立体表現や CIM 化などの 3D モデリング技術や深層学習等は、これまでの地すべり判読技術を進化させようとしています。そのような技術発展の中、日本においては、SDGs などに鑑みた自然エネルギーとしてのソーラー発電や風力発電の適地として、地すべり地の役割がクローズアップされつつあり、地すべり地形の安定性判断やコストを抑えた対策、土地・環境保全のため AHP 等を使う事例も増えつつあります。

以上を背景に、地すべり地形の抽出やリスク評価手法を今一度整理するとともに、適地の判定に有効な AHP などの使い方を再考する機会として当セッションを設けました。

世話人 濱崎英作

## ■令和6年能登半島地震セッション

### 2024 Noto Peninsula Earthquake session

令和6年能登半島地震の地震動で能登半島を中心に深刻な被害が発生するとともに多数の地すべりや崩壊等の斜面変動が発生しました。これまで支援活動や緊急調査・研究が精力的に続けられており、地震のメカニズムや斜面変動の状況の実態も少しずつ明らかになってきました。本セッションでは、今回の地震を受け斜面変動の特徴や被災状況、さらにこれまで能登半島で発生してきた地震のメカニズム等について最新の知見を共有するために企画しました。能登半島地震の調査・研究に従事している方々、ご関心をお持ちの方々の参加を期待しています。

世話人 事業計画部会

## ■英語発表セッション

### English oral session

近年、科学技術の進展は目覚ましく、地すべりの分野でもより一層の国際的な議論が求められます。また、海外から地すべりの諸現象を学ぶ留学生が増えることも期待されます。そのような情勢を踏まえ、日本地すべり学会宮城大会では英語での発表セッションを設けます。留学生や今後海外で活躍を目指す学生・技術者は是非本セッションで発表し、交流して下さい。このセッションでは、要旨・スライドは英語で作成して下さい。質疑応答も基本的に英語で行います。

世話人 佐藤 浩（地すべり学会国際部/日本大学）  
小川 洋（地すべり学会国際部/日本工営）  
蔡 飛（地すべり学会国際部/群馬大学）  
河内義文（地すべり学会国際部/ケイズラブ）